

## 『向かい風で飛べ！』

乾 ルカ/著 中央公論新社



転校先で同級生の理子に誘われてスキーのジャンプを始めたさつき。理子は天才少女として将来を期待されていたが、さつきもみるみるうちに実力をつけて追いついていく…。  
「向かい風は、大きく飛ぶためのチャンスなんだよ」という言葉が胸に響きます。冬の青空を風に向かって力強く、美しく飛びジャンパーたちを描くスポーツ小説。

## 『サンタ・エクスプレス -季節風 冬-』

重松 清/著 文藝春秋



冬にまつわる12篇の短編小説。人生には切なく厳しい場面もあるけれど、厳しい冬を乗り越えた先に、暖かい春がやってくると感じられる話が多く、ほっこりと温かい気持ちになれます。誰にでもある人生の1コマを切り取っていて、共感できるエピソードもあるでしょう。クリスマス、正月、節分、バレンタインと季節の行事に沿った話もまさに「冬」にぴったり。冬春夏秋の4部作の1作目です。ぜひ他の季節も読んでみてください。

## 『白い生きもの図鑑』

小宮 輝之/監修 ネイチャー&サイエンス/編 河出書房新社



さまざまなジャンルに渡る「白い色をした生きもの」たちが美しい写真で紹介された、お手軽サイズの図鑑。もちろん図鑑なので内容は季節を問いませんが、おすすめポイントは雪景色に映える動物たちです。なかでも、夏はチョコレート色なのに冬になると真っ白な毛に変わるオゴジヨが、雪原でひょこっと首を伸ばしている表紙は悶絶の可愛さ。冬に白くなる動物の謎も分かる、見てよし、知って良しの一冊です。

# 冬が来た

## 『みかんでつくれるゾウ&仲間たち』

-みかん製がいじゅちゅ品-

笹川 勇/著 主婦の友社



冬といえばやっぱりみかん！みなさんはみかんを食べる時、皮をどう剥いていますか？ただ剥くだけじゃあもったいない！ぜひ本書を読んでかっこよくアートに剥きましょう！秀逸な作品からちょっと笑っちゃう作品まで、いろいろな作品が載っていますよ。食べるために剥くのか、剥くために食べるのか…。夢中になりすぎて食べ忘れないようご注意ください。飛び出す汁にもご用心…。

## 『楽しい雪の結晶観察図鑑』

武田 康男/文・写真 緑書房



「雪の結晶」というと、中心から6本の枝が伸びたような形を思い浮かべることでしょ。きちんとした科学的なわけがあって、雪の結晶はそんな形になるのです。その時々条件によって、さまざまな形になった美しい雪の結晶の写真を見ていると、雪が降る日が楽しみになってきます。

## 『名探偵ポアロ オリент急行の殺人』

アガサ・クリスティー/著 山本 やよい/訳 早川書房



様々なバックグラウンドを持つ人々が利用する豪華寝台列車オリент急行。雪で立ち往生してしまった1本のその列車の中で凄惨な殺人事件が発生してしまう。偶然にもその列車に乗り合わせていた名探偵、エルキュール・ポアロはさっそく捜査を開始することに。しかし容疑者である他の乗客たちには全員犯行当時のアリバイがあることがわかり…。果たして犯人は誰なのか？クリスティーのおくる不朽の名作です。